

あかしあ

AKASHIA

●発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子

●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5

電話 03(3849)1188

FAX 03(3849)7001

●印刷 足立区大谷田就労支援センター

法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成24年度第1回評議員会・理事会報告

日時 平成24年5月28日 午前10時～午後11時20分

場所 足立あかしあ園3階会議室

・報告事項

①生活介護通所施設建設計画について

②竹の塚あかしあの杜に関わる東京都実地検査指摘事項について

③社会福祉法人あいのわ福祉会定款改正案について

・議案

第1号議案

(1) 平成23年度事業報告案及び決算報告案について

(2) 平成23年度監査報告について

「東日本大震災」から1年が経過しましたが、当法人としても支援物資の提供・人員派遣・義援金活動・被災地支援を目的としたチャリティーバザーの開催等で被災地の復興支援に取組むと共に、法人内の災害時対策を見直し、防災マニュアルの策定及び全事業所に無線基地局の設置と携帯無線機の配備を完了しました。

障がい福祉分野においては、障害者自立支援法の廃止が見送られ、一部改正を加えた「障害者総合支援法案」が閣議決定され国会で審議される予定となりましたが、新法が当事者及び関係団体にとって、より良いものとなる様引き続き注視してまいります。併せて、新・社会福祉法人会計基準への移行が平成27年度までと定められた事もあり、当面は様々な変革への対応に迫られる状況が続くものと思われまます。

法人運営においては、あいのわ支援センターの本格稼働や、神明障がい福祉施設の民営化等新たな事業展開がスタートしておりますが、足立区内における障がい福祉施設利用ニーズは益々増加傾向にあり、それに応える事も急務と考えております。来年度は緊急対応として、あいのわ支援センター谷中の1階多目的スペースを活用し、神明福祉園の分室生活介護の開設を決定しましたが、「中期経営計画」に基づき、新たな事業の拡大と法人組織の確立に具体的に取組んでまいります。

平成24年度 新任研修会・辞令交付式・職員全体会

平成24年4月1日現在、あいのわ福祉会は7事業所で17事業を実施しています。利用者定員409名、常勤職員182名、非常勤職員を含めると250名を超える法人組織となりました。利用者・家族、地域のニーズに応える取組みの歴史の結実であり、多くの方々のお力添えの賜物と厚く感謝いたします。今後も、中期経営計画に基づき、見通しの持てる事業内容の構築に努めてまいります。

さて、3月末から3日間にわたり、24年度新規採用職員18名を対象にした新任研修会が行われました。法人の歴史・理念、労働条件、職員心得、利用者支援の実践にあたって、医療ケア、中期計画等々の多岐にわたる内容でした。フレッシュな新任職員の真剣なまなざしに講師の講義にも熱が入り、時には和む話も織り交ぜながら、会場はいつしか一体感に包まれていました。

4月2日午前には新年度恒例の新採用職員、昇格者、異動職員に対する辞令交付式が厳かに行われました。理事長から一人ひとりに発令通知書が手渡され、役員からの激励の言葉を胸に新たな一歩を踏み出しました。

午後には昨年度、震災等の影響もあり自粛していた法人職員全体会が実施されました。理事長からの「中期計画に基づき、様々なニーズに応えるために一人ひとりの職員が力を発揮し、みんなで力を合わせて法人事業を一体的に創っていきましょう」との挨拶に続いて、勤続10年に達した4名の職員への永年勤続表彰があり、会場は労をねぎらう拍手に包まれました。

また、3理事の所信表明の挨拶があり、新たな施設建設計画・人材の育成・財政基盤の確立、医療ケアの対応等々、地域生活の継続のための基盤づくりという法人課題を共有する場となりました。

終わりに24年度の事業計画・施設紹介を各施設のサービス管理責任者が行い、各施設の特色、種々の事業内容が法人という組織に統合され、一体的・トータルな地域ケアのシステムとして繋がっていることを全施設の職員が一同に会する中で実感することができた貴重な法人職員全体会でした。

(理事 今野光信)

足立あかしあ園だより

新年度がスタートして1か月。春のスタートのなんだか「わくわく♪そわそわ♪」する気持ちも少しずつ落ち着いてきました!

4月4日に入園式を行い3名の新しい仲間を迎えました♪元気一杯で個性豊かなフレッシュな皆さんです!ご入園おめでとうございます!一緒に楽しんでいます!いきましょうね!

毎年感じることですが、新しく仲間が増えるということは本当に嬉しいことです!先輩利用者の方々にとってもきつと新鮮であり、また先輩としての頑張りを見せたい・



楽しさを一緒に過ごせる仲間が増え嬉しいと、きつと誇りにそして喜ばれていることと思います。

足立あかしあ園は今年度利用者のみなさんにとって、ご家族にとって、地域の方々にとって、職員にとってどのような施設でありたいかを改めて職員全員で考え理念の見直しを行い、しっかりと心に刻みながら日々の支援に全力で頑張っていきたいと考えています。63名の利用者の皆さんと1日1日を大切に元気よく楽しく過ごしていきたいと思います!

綾瀬あかしあ園だより

4月より平成24年度の新体制がスタートしました。ご利用者、職員のグループ異動もあり、スタートしてから、毎日バタバタと慌ただしい日々でした。先日、施設でお世話になっている講師の先生からこんな話を伺いました。

「4月から職員の表情が硬い。ピリピリしているというのではないが、皆さん今は緊張して仕事をされているんだろうなという印象で



す。

そんな時こそ笑って体を動かすとよいですよ!先生は明るく気遣いながら話をしてくれましたが、先生からのエールであり私たちとしては反省でもあります。

今はご利用者、職員と一緒に一つひとつ形にしているところです。

それぞれのグループで求めている、きらりと光る瞬間が(わかりにくいですが)少しずつ見られてきています。これからもそれぞれの思いや願いを大事に、何年後かには新体制にして良かったと、ご利用者はもちろん、ご家族、職員にとってもそう思えるよう皆で力を合わせて作り上げていきたいと思っています。

新生綾瀬あかしあ園に、皆さんもどうぞ遊びにきてください。(森)

竹の塚あかしあの杜きずな(生活介護入所)だより

桜の季節4月となり、利用者のみならず施設周辺のさまざまな桜スポットにお花見に出かけています。長く続いた寒い季節も終わり、これから外にでかける機会もどんどん多くなってい



ます。

ここで少し、きずなのバリエーション豊かな散歩コースをご紹介します。「立ち並ぶ塙輪を見ながら古代ロマンに浸る、ハニワ公園コース」「広大な陽向でまどろむ、団地の中公園のんびりコース」「季節の野菜を見て楽しむ、さんよう農場コース」「片道30分の長距離遠征、元洲江公園コース」「埼玉と東京の県境を行く、毛長川散策コース」そして新たに今年新コースができました。日本庭園に、広大な青い芝、そして咲き乱れる桜、花畑記念庭園桜花亭コースです。まだまだ探せば、穴場スポットがありそうな足立区竹の塚周辺、これからも利用者さんと一緒に色々な散歩コースを開拓していきたいと思います。

また、今年からはきずな内6つの小グループが、それぞれに行きたい所を話し合い、バス外出をしようという企画が始まりました。利用者さんも職員も初めての経験で、不安と希望が入り混じった中、「山に登ってみたい?、船を貸し切ってみない?工場見学なんてどう?」などなど色々な話で盛り上がりを見せています。

外に出かけて色々な体験をして、そしてたくさん刺激を受け、利用者さん、職員共々より「きずなでよかったなあ」と思える1年になれたらいいなと思っています。(塩賀)

竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

新年度になり職員体制が変わり、創作グループに2名の利用者さんが新しく仲間に加わりました。

利用者さんは、33名になり、いつもの利用者さんとのぞみの理念でもある「いっぱいのしあわせ いっぱいの希望(のぞみ)」を、実現していきたいと思っています。

4月9日に入所式を行いました。理事長や施設長の挨拶や、2名の利用者さんへ学校の先生からメッセージがありました。

のぞみからは、利用者自治会会長の挨拶・花束贈呈・歓迎アーチの設置を行いました。

歓迎アーチは、作業グループと創作グループで作成し、新利用者さんは笑顔でくぐって入場しました。

職員紹介では、新規職員・非常勤職員を含めて17人の紹介



を行いました。少し遅れましたが、非常勤職員男女1名ずつが仲間に加わりました。

職員も利用者さんも人数が揃い、さらに楽しいのぞみがスタートしました。(和田)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

今年度、大谷田就労支援センターには12名の方が新しく入所されました。入所されて1ヶ月あまりが経ち、通勤や環境にも慣れてきて、皆さんそれぞれ新しい仕事や仲間との関わりに戸惑いながらも楽しく過ごされています。

就労移行支援事業には8名の方が入所されました。4月から、ビジネスマナーやパソコンを使ったデータ入力、清掃やシユレッターなどの軽作業の訓練などに取り組んでいます。

ビジネスマナーは模擬的な訓練も実施していますが、初めて覚える社会人と



してのマナーに、慣れないながらも一生懸命に取り組んでいます。たまには間違えることもあります。



ありますが、それも一つの勉強と考ええどんどん覚えていっていただければと思います。

今後は、皆さんそれぞれ自分の目標である就労を目指したり、就労継続支援B型を目指したりしていきますが、どちらも働くということには変わりありません。覚えることが沢山あって大変だとは思いますが、今の内にできるだけ吸収して今後に活かしていただきたいと思います。



就労継続支援B型事業には4名の方が入所されました。名刺作成やデータ入力、自転車清掃・軽作業、洗濯作業をご担当いただいています。皆さんこれまで働いた経験のある方々です。4月の配属からすぐに実際の仕事に入っておられます。今後いろいろな仕事を覚えていただき、活躍の場を

広げていただければと思います。大谷田就労支援センターとしても、今後とも仕事の幅を広げていきたいと考えていますので、その中でまた新しい活躍ができるようにと考えています。

職員は事前に受け入れ態勢を整えるとともに、入所されてからは定期的な面談や仕事の支援を行い、個々の方の仕事の習得方法に試行錯誤しながら、1日でも早く環境や仕事に慣れていただけるように努力しています。

こんな一生懸命なメンバーが、大谷田就労支援センターの今後の一翼を担っていきます。今年も大きく成長できるよう、センター全員が一丸となって取り組んでまいりますので、関係者の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。(酒井)

神明福祉園だより

平成24年度、神明福祉園では「あい」のわ支援センター「谷中」内に分室を開設しました。

4月6日(金)には、新規利用者8名(本園2名、分室6名)を迎え総勢45名となりました。入園式では多くの来賓の方々にご臨席をいただきました。支援学校や障がい福祉センターからは入園者のエピソードを含めた励ましのお言葉をいただきました。懐かしさに顔もほころんでいました。

今年度も5班の体制で活動が継続されますが、班が変わった方々もおり当初は不安な表情も見られましたが、現在は落ち着き活動をされています。

4月18日には日頃からお世話をいただいているボランティア（10名）の方々にお集まりいただき懇親会を行いました。食事を利用者と一緒に楽しんでいた

だき、その後ホールに集合して、各班からの出し物で交流を深めました。ZOOMAの方々をはじめ、多くのボランティアに支えていただき活動がすすめられることに感謝しています。

5月には外出・ファミリーレクリエーションが予定されています。一緒に楽しむこと、共感することを大切に取り組みをすすめたいと考えています。

ゴールデンウィーク明けから、支援計画の個別面談が始まります。利用者さんの家庭での生活や、ご家族として



本人へ望むことなどを含め、施設での取り組み課題等についてお伝えしていきます。ご家族の思いを大切にしたい面談にしていきます。（渡邊）

神明デイサービスセンター だより

平成24年度が始まりました。職員人事で、本間支援員と倉成看護師が異動になり、後任に白井支援員と岡田看護師が入り、新たな体制でスタートしました。

皆さんのお名前を覚えたり、講習会の段取りを教わったり、まだまだ、頼ってばかりで、ご迷惑を掛けっ放しですが、宜しくお願い致します。

さて、デイサービスでは、春一番で、空きバスを利用して、区内の桜名所をめぐるバス外出を計画していましたが、現時点では、2便目のバスも運行があり、空いていないという状況で、お花見ツアーは実現できませんでした。

なので、施設横の公園で、満開の桜を堪能しました。花びらを拾って観察したり、写真を撮ったり、見上げながら、



空とのコントラストに見入ったりして楽しめました。

きつと、この感性が、講習会の作品に活かされていくのだと思います。

デイでは、絵画・気功・音楽・フラダンス・絵手紙・陶芸の講習会を行っています。皆さんとても上手で、日々感心することばかりです。

リハビリにも力を入れており、発声しながらストレッチをしたり、手すりに掴まって、足腰を動かしたり、ボールや滑車、エアロバイクなど、自分に合った物を選びながら行っています。多様な活動を通して、皆さんの生活にハリが出て、生き生きと過ごせるように工夫しています。どんな感じか、覗きにきて下さいね。（白井）

神明福祉作業所だより

今年は例年に比べ、遅い春の到来で



はありましたが、待ち遠しかった分、いつもにも増して満開の桜を美しく感じました。

今年度、福祉作業所は、新たに3名の仲間を迎え53名でのスタートとなりました。

4月6日の入所式では新メンバー3名とともにとても緊張した様子でしたが、其々、「新しい作業を頑張りたい」「休まず通所したい」「色々な作業を頑張りたい」との抱負を述べていただきました。

また、かりんグループでは、季節行事が行われ、満開の桜の下、お茶を飲みながら、楽しい時間を過ごしました。

さて、只今、6月3日のハート&ハートに向けての準備に動んでいます。

喫茶店・革体験・自主商品販



売・自転車清掃
など作業所も出
店しますので、
皆さん是非お越
しください。

コーヒールー
ム「みるく」か
らのお知らせで
す。4月からリ
ニューアルして再開しました。「ほろ
苦」と「あいのわコーヒー」、それぞ
れ挽きたてを皆さんへお届けします。
ご注文を一同、お待ちしております。

（神田）



グループホームオハナだより

平成24年度が始まりました。

3月まで働いて下さっていた支援員が新しい道に進んだり、新しい方が支援に入って下さったり、あわたたく過ぎ去ったこの1ヶ月でした。利用者の皆様には不安を感じさせたり落ち着かなかったり、いろいろな面で申し訳ない生活をさせてしまいました。時の流れと共に、みんなはみんならしく生き生きと生活をエンジョイしてくれており、ありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。4月からは支援センターの支援員の方々がオハナの支援に入っ下下さっています。利用者ひとりひとりのことを思いながら、きめ細やかな

支援をして下さっており、とても助かっております。

いろいろな方々の支えを受けながら、今年度も6名の利用者がより豊かな暮らしが出来るようサポートをしていきたいと思っています。今年度もどうぞよろしく願います。（永山）

あいのわ支援センターだより

4月6日、満開の桜に見守られて、神明福祉園谷中分室のご利用者様が入所式を迎え、あいのわ支援センターの1階で、希望いっぱい、元気にスタートを切りました。皆様よろしくお願い致します。

さて、谷中分室では園芸、散歩（買物）、作業など色々な活動を行っています。中でも特に皆さんに好評なのは、調理の活動です。散歩で購入してきた材料を使って、イチゴクレープ、ポテトサラダ、カップケーキなどを作りしました。味はもちろん、見た目もピカイチの？

出来栄で、調理工程の段階から皆さんニコニコで参加して下さっています。

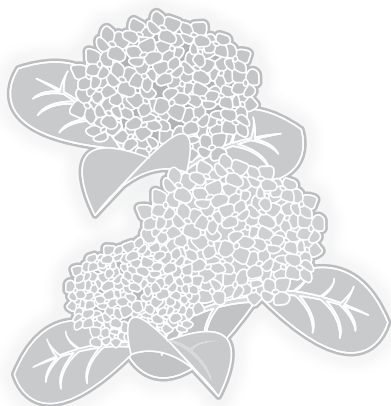
「いいにおいがしてきた」と谷中のシヨート



やケアホームのご利用者様ものぞきに來てくださり、ちよつとつまみ食い：？手

伝つて下つたりもしています。

5月からは、入浴の活動も開始します。少しでもご利用者様の楽しみや、家庭での介護負担の軽減につながる活動ができるように、努力して参ります。（内田）



平成24年度後援会総会

日時 平成24年6月19日（火）

午前10時30分～午前11時15分
場所 足立あかしあ園3階会議室

議案

第1号議案

- （1）平成23年度事業報告について
- （2）平成23年度決算報告について
- （3）平成23年度監査報告について

第2号議案

平成24年度役員（案）について

第3号議案

平成24年度事業計画（案）について

第4号議案

平成24年度予算（案）について

◆感謝状贈呈

平成23年度の寄付者・団体に対して感謝状が授与されます。

◆記念講演

「生物園のさまざまな取り組み」

足立区生物園 園長 榎本太郎氏

多数のご出席をお待ちしています。

「社会福祉法人 あいのわ福祉会防災対策」

平成 23 年 3 月 11 日 午後 2 時 46 分 マグニチュード 9.0 の巨大地震が東日本を襲い、その後の巨大津波、原子力発電所の事故による核物質の拡散と汚染に日本は甚大な被害を受けています。亡くなられた方、行方不明者合わせて 2 万人。現在も避難生活を続けている方、ふる里に戻れない方が多く残されており、日常の生活は瞬時に奪われてしまいました。

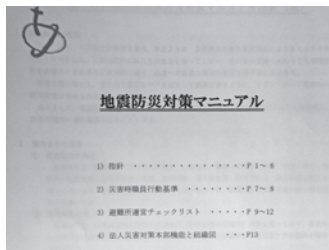
あいのわ福祉会各事業所では、外出先で地震に遭遇した施設、通所バスに乗り自宅に向かう途中の施設、作業・活動を継続中の施設。各所で想定外の経験をし、何とか困難な状況を乗り越え、利用者の方全員が無事に帰宅することができました。

これまで各所において「防災マニュアル」を用意していましたが、まさに机上のマニュアルであったことに気づかされました。実際に災害に遭遇し、得た教訓を活かしたマニュアルを作成することとなり、昨年 6 月の「防災対策担当者会」を立ち上げ、6 ヶ月に渡り議論を進め「新防災マニュアル」を完成させました。

マニュアルでは期待される効果として 2 点を挙げています。①自助能力の向上 ②共助能力の向上です。どんな災害時であっても「自ら生き抜く力を高めること」「ともに助け合う力」が大切であり、これらの力の養成を図ることを基礎に構成されています。

災害想定については、今回の東日本大震災を教訓に①立地条件の確認 ②施設の被害想定 ③防災対策の検討：耐震化、落下転倒防止、防火対策、必需品の備蓄、情報収集と連絡体制、施設利用者の安否確認 ④利用者・職員の防災意識の向上 ⑤防災訓練 ⑥災害時の職員勤務 ⑦外出時の防災安全管理対策を挙げています。

足立区は荒川、綾瀬川、中川、毛長川、隅田川に囲まれた低地であり、液状化や浸水の被害に弱い地域であることを基本に防災対策を考えること。地震直後の停電等により車椅子利用者の避難に困難をきたすこと。情報の



途絶から混乱を生じ、危機リスクが高まることや正確な情報を入手し、的確な判断を行うことが求められています。また、備蓄食料についてはこれまで 3 日間分を用意していましたが 5 日分に増やすことを考えました。

また、入所施設やケアハウス・ホームへの支援の構築、通所施設での避難生活の想定を含めた職員の勤務体制確保に向けた出勤判断基準の策定を行いました。なお、家庭にとどまる利用者・家族の安否確認についても記述しています。施設管理者については災害発生後に直近の施設に駆けつけることとし、災害対策本部を設けて具体的な対策への指示命令を発信し、利用者の救護・支援にあたります。

施設の外出行事に際しての防災安全管理対策についても明記し、教訓から防災無線を購入し、各事業所に設置を行いました。この防災無線は関東一円をカバーしています。施設間での情報交換や平時にも使用でき、外出行事には必ず携帯することとし、また日常服薬している薬についても必ず用意しておくこととしました。

避難所運営についても統一的な基準を作成しました。避難所運営会を設立させ、避難者にも管理運営に加わっていただき、足立区からの指導・支援を受けて秩序ある避難生活を作り上げます。

ご家族への連絡方法については、携帯電話は今回まったく機能しなかったという実態からメールの活用を含め、緊急時の連絡先として近親者への連絡を含め検討されました。

首都東京においても東京湾北部を震源とする地震により、足立区は震度 6 強の揺れが想定されています。災害発生時には予測不可能な事態が起こりえますが、今回の東日本大震災により多くの犠牲から貴重な教訓を得ました。住んでいる地域状況を把握し、避難方法を考えること。備蓄食料を含め、防災対策グッズ（簡易トイレを含め）を用意しておくこと。災害ダイヤルの有効活用（利用の仕方をつかりと練習しておくこと）、正確な情報入手し、的確な判断を行い、近所の方々と協力し、二次的被害（火災・津波・浸水）を最小限に食い止めるため、自助と共助を基本に行動を起こすことが大切になります。

防災マニュアルを身につけるため、各事業所では計画的な防災訓練を実施していきます。関係する皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（理事 渡邊 正人）

24 年度 新人 職員 紹介

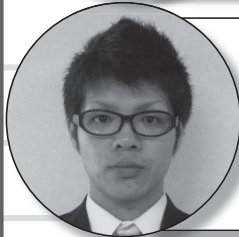
名前・所属・趣味等を聞いてみました。



名前：丸山 陽子
所属：綾瀬あかしあ園
趣味：絵を描くこと
出身地：千葉県市原市



名前：若生 恵実
所属：綾瀬あかしあ園
趣味：体を動かすこと
(バスケットボール・マラソン)
雑貨屋さんめぐり
出身地：埼玉県上尾市



名前：長岡優樹
所属：竹の塚あかしあの杜
「のぞみ」
趣味：最近、高校の友達とやっ
ているバスケットボールです
出身地：埼玉県越谷市



名前：奥野世里
所属：竹ノ塚あかしあの杜
「のぞみ」
趣味：音楽
出身地：東京都足立区



名前：稲垣智香
所属：竹の塚あかしあの杜
「きずな」
趣味：ショッピング
出身地：東京都足立区



名前：國分 京
所属：竹の塚あかしあの杜
「きずな」
趣味：運動
(ロードバイクを始めたいです)
出身地：東京都豊島区の巣鴨



名前：鉤流友美子
所属：大谷田就労支援センター
就労移行支援事業室
趣味：食べ歩き(ラーメン)
サイクリング
出身地：千葉県松戸市



名前：田口 礼乃
所属：谷中ハウス
趣味：ダンス
出身地：千葉県



名前：荻島 淳史
所属：居宅介護支援
趣味：スポーツ観戦
出身地：東京都



名前：川邊 麻衣
所属：谷中ハウス
趣味：散歩
出身地：千葉県



名前：大川 順司
所属：足立あかしあ園
趣味：車、オーディオ
出身地：埼玉県草加市



名前：武田 裕太
所属：足立あかしあ園
趣味：写真撮影
出身地：埼玉県



名前：千葉 弘夢
所属：神明福祉作業所
趣味：映画鑑賞
出身地：足立区

投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

南佐久 きらきら流る 雪解川

秋山 啓司

この一句

五月雨を あつめて早し 最上川

松尾 芭蕉

五月雨は梅雨と同じで、揚子江流域とわが国特有の雨といわれております。田植のためには、ありがたい自然の恵みの雨である。瑞穂の国といわれる由縁でもありましょう。（秋山）

後援会だより

（平成 24 年 3 月～4 月） 敬称略、順不同

〈特別会員〉 1 口 1 万円

清水康行 土屋佐和子

足立あかしあ園保護者会（59 口）、綾瀬あかしあ園保護者会（49 口）

竹の塚あかしあの杜きずな家族会（35 口）

竹の塚あかしあの杜のぞみ家族会（32 口）

〈一般会員〉（1 口 3 千円～5 千円）

西村文雄、高島節郎、綾瀬あかしあ園保護者会（2 口）

竹の塚あかしあの杜きずな家族会（5 口）

竹の塚あかしあの杜のぞみ家族会（1 口）

大谷田就労支援センター有志（6 口）

〈寄付者〉

渡辺和彦

★今年も多くの皆様からの後援会へのご加入、ご寄付有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。★

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

（平成 24 年 3 月～4 月）

短期入所事業利用状況

延べ利用人数 79 名

内児童

16 名

延べ利用日数 308 泊

内児童

54 泊

編集後記

新年度がスタートしました。

4 月 2 日、辞令式と職員全体会がありました。全施設の職員さんが一同に会する光景には、圧倒されるものがありました。その後、各所・各園の入所・入園式があり、久しぶりに出席させていただきました。

ちよっぴり緊張気味の新利用者さんと、迎える先輩利用者さん達の明るく元気な雰囲気の中、一番緊張が伝わってきたのは、司会進行の職員さんだったように感じました。それぞれに、新利用者さんをみんなで迎えようと、工夫された温かな式でした。

五月に入り少しずつ新しい生活にも慣れてきた頃でしょうか。日々の生活の中で自分らしさを出しつつ、何かを達成出来たとき、ちよっとした嬉しい変化に、関わるすべての人達と共感・共有していけたらいいですね。

出来ないから やらないんじゃない
出来ないからこそ やるんじゃない？
格好悪くても やってみようよ
君が思うより 君は強いんだよ
勝つか 負けるかじゃなくて
やるか やらない なんだよね
どんな夢でも かなえる魔法
あきらめないこと
前向き 胸張り 一步一步踏み出し
自分の道
ずっとずっと コンティニュー
SEAMO『Continue』より

とにかく、続けてみましょう。（そう、自分にもいい間かせながら）役員として、本紙「あかしあ」発行の担当をさせていただくことになりました。ご指導のほどよろしくお願いいたします。（丸山）

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188 まで

平成23年度 資金収支計算書（総括）

（平成23年 4月 1日 から 平成24年 3月31日）

（単位：円）

No.	勘定科目	予 算	本年度決算	増 減	特 記 事 項
【就労支援事業による収支】					<単位：百万円>
1	就労支援事業収入計(1)	31,171,000	33,498,042	△ 2,327,042	
2	就労支援事業支出計(2)	31,171,000	32,006,100	△ 835,100	
3	就労支援事業収支差額(3)	0	1,491,942	△ 1,491,942	
【福祉事業活動による収支】					
4	利用料収入	976,905,520	977,347,531	△ 442,011	
5	足立区委託料収入	90,433,320	80,958,865	9,474,455	
6	経常経費補助金収入	532,612,000	482,089,369	50,522,631	
7	都道府県補助金収入	150,553,000	150,289,529	263,471	
8	市区町村補助金収入	382,059,000	331,799,840	50,259,160	
9	寄附金収入	2,460,000	4,331,983	△ 1,871,983	
10	雑収入	16,800,000	22,982,121	△ 6,182,121	
11	借入金利息補助金収入	3,241,000	3,239,350	1,650	
12	その他収入	30,000	18,942	11,058	
13	福祉事業活動収入計(4)	1,622,481,840	1,570,968,161	51,513,679	
14	人件費支出	1,147,856,000	1,110,603,080	37,252,920	
15	事務費支出	278,633,340	254,439,752	24,193,588	
16	福利厚生費	8,270,000	5,219,204	3,050,796	
17	旅費交通費	6,677,000	2,165,065	4,511,935	
18	研修費	5,675,000	4,411,039	1,263,961	
19	消耗品費	6,578,000	6,995,287	△ 417,287	
20	器具什器費	3,866,000	2,301,833	1,564,167	
21	水道光熱費	6,507,000	7,700,118	△ 1,193,118	
22	修繕費	36,561,000	29,713,172	6,847,828	
23	通信運搬費	6,074,000	3,812,631	2,261,369	
24	業務委託費	146,161,340	148,659,064	△ 2,497,724	
25	賃借料	19,271,000	19,447,756	△ 176,756	
26	雑費	20,194,000	17,162,211	3,031,789	
27	その他支出	12,799,000	6,852,372	5,946,628	
28	事業費支出	151,938,500	118,257,739	33,680,761	
29	給食費	33,541,000	32,585,864	955,136	
30	保健衛生費	8,583,000	7,163,095	1,419,905	
31	教養娯楽費	23,592,000	9,322,051	14,269,949	
32	本人支給金	7,258,000	5,538,786	1,719,214	
33	水道光熱費	44,672,000	41,119,424	3,552,576	
34	修繕費	3,310,000	2,241,463	1,068,537	
35	消耗品費	8,546,000	6,228,906	2,317,094	
36	器具什器費	3,754,000	2,935,092	818,908	
37	賃借料	7,593,000	4,314,258	3,278,742	
38	教育指導費	7,165,000	4,899,943	2,265,057	
39	その他支出	3,924,500	1,908,857	2,015,643	
40	借入金利息支出	3,241,000	3,239,350	1,650	
41	福祉事業活動支出計(5)	1,581,668,840	1,486,539,921	95,128,919	
42	福祉事業活動収支差額(6)	40,813,000	84,428,240	△ 43,615,240	
【施設整備等による収支】					
43	施設整備等収入計(7)	17,740,000	18,554,000	△ 814,000	
44	施設整備等支出計(8)	31,087,000	35,759,547	△ 4,672,547	
45	施設整備等資金収支差額(9)	△ 13,347,000	△ 17,205,547	3,858,547	
【財務活動による収支】					
46	財務収入計(10)	30,560,000	60,326,480	△ 29,766,480	
47	財務支出計(11)	34,310,000	234,310,000	△ 200,000,000	
48	財務活動資金収支差額(12)	△ 3,750,000	△ 173,983,520	170,233,520	
49	予備費(13)	23,716,000	0	23,716,000	
50	当期資金収支差額合計(14)	0	△ 105,268,885	105,268,885	
【資金残高】					
51	前期末支払資金残高(15)	0	758,116,876	△ 758,116,876	
52	当期末支払資金残高(14)+(15)	0	652,847,991	△ 652,847,991	

積立預金作成 200

- ・足立 50
- ・綾瀬 50
- ・竹の塚 100

平成23年度 事業活動収支計算書（総括）

（平成23年 4月 1日 から 平成24年 3月31日）

（単位：円）

No.	勘定科目	本年度決算	前年度決算	増 減	特 記 事 項
【就労支援事業収支の部】					<単位：百万円>
1	就労支援事業収入計(1)	33,498,042	34,278,450	△ 780,408	
2	就労支援事業支出計(2)	32,006,100	30,883,298	1,122,802	
3	就労支援事業収支差額(3)	1,491,942	3,395,152	△ 1,903,210	
【福祉事業活動収支の部】					
4	利用料収入	977,347,531	873,033,683	104,313,848	
5	足立区委託料収入	80,958,865	189,577,697	△ 108,618,832	
6	経常経費補助金収入	482,089,369	443,550,006	38,539,363	
7	都道府県補助金収入	150,289,529	213,574,235	△ 63,284,706	
8	市区町村補助金収入	331,799,840	229,975,771	101,824,069	
9	寄附金収入	4,331,983	5,617,308	△ 1,285,325	
10	雑収入	19,534,701	17,999,001	1,535,700	
11	借入金元金償還補助金収入	30,560,000	30,560,000	0	
12	国庫補助金等特別積立金取崩額	60,573,540	0	60,573,540	
13	福祉事業活動収入計(4)	1,655,395,989	1,560,337,695	95,058,294	
14	人件費支出	1,095,840,580	1,003,023,705	92,816,875	
15	事務費支出	254,439,752	223,002,246	31,437,506	
16	器具什器費	2,301,833	1,925,089	376,744	
17	水道光熱費	7,700,118	13,128,073	△ 5,427,955	
18	修繕費	29,713,172	5,192,160	24,521,012	
19	業務委託費	148,659,064	138,343,905	10,315,159	
20	賃借料	19,447,756	17,266,402	2,181,354	
21	その他支出	46,617,809	47,146,617	△ 528,808	
22	事業費支出	118,257,739	106,286,232	11,971,507	
23	給食費	32,585,864	27,008,717	5,577,147	
24	教養娯楽費	9,322,051	16,189,542	△ 6,867,491	
25	本人支給金	5,538,786	5,065,598	473,188	
26	水道光熱費	41,119,424	29,425,626	11,693,798	
27	器具什器費	2,935,092	2,105,171	829,921	
28	教育指導費	4,899,943	5,140,776	△ 240,833	
29	その他支出	21,856,579	21,350,802	505,777	
30	減価償却費	92,719,107	83,933,903	8,785,204	
31	徴収不能額	0	0	0	
32	退職給与引当金繰入	11,315,080	10,365,180	949,900	
33	福祉事業活動支出計(5)	1,572,572,258	1,426,611,266	145,960,992	
34	福祉事業活動収支差額(6)	82,823,731	133,726,429	△ 50,902,698	
【事業活動外収支の部】					
35	借入金利息補助金収入	3,239,350	3,718,800	△ 479,450	
36	その他収入	18,942	23,215	△ 4,273	
37	事業活動外収入計(7)	3,258,292	3,742,015	△ 483,723	
38	借入金利息支出	3,239,350	3,718,800	△ 479,450	
39	その他支出	0	0	0	
40	事業活動外支出計(8)	3,239,350	3,718,800	△ 479,450	
41	事業活動外収支差額(9)	18,942	23,215	△ 4,273	
42	経常収支差額(10)	84,334,615	137,144,796	△ 52,810,181	
【特別収支の部】					
43	施設整備等補助金収入	18,554,000	1,000,000	17,554,000	
44	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	58,185,612	△ 58,185,612	
45	特別収入計(11)	18,554,000	59,185,612	△ 40,631,612	
46	国庫補助金等特別積立金積立額	18,554,000	1,000,000	17,554,000	
47	固定資産売却損・処分損	1	2	△ 1	
48	特別支出計(12)	18,554,001	1,000,002	17,553,999	
49	特別収支差額(13)	△ 1	58,185,610	△ 58,185,611	
50	当期活動収支差額(14)	84,334,614	195,330,406	△ 110,995,792	
【繰越活動収支差額の部】					
51	前期繰越活動収支差額(15)	1,169,604,505	684,531,038	485,073,467	
52	当期末繰越活動収支差額(16)	1,253,939,119	879,861,444	374,077,675	
53	その他の積立金取崩額(19)	29,766,480	0	29,766,480	
54	その他の積立金積立額(20)	200,000,000	0	200,000,000	
55	次期繰越活動収支差額(21)	1,083,705,599	879,861,444	203,844,155	

平成23年度 貸借対照表 (総括)

社会福祉法人 あいのわ福祉会

平成24年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減	勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	822,281,265	909,884,737	△ 87,603,472	流 動 負 債	169,433,274	151,767,861	17,665,413
現金預金	606,348,750	714,230,183	△ 107,881,433	買掛金	5,627,909	6,079,265	△ 451,356
売掛金	1,767,099	1,987,248	△ 220,149	短期借入金	0	0	0
未収金	209,429,840	189,176,567	20,253,273	未払金	141,820,227	140,837,589	982,638
貯蔵品	226,215	0	226,215	預り金	21,985,138	4,621,301	17,363,837
立替金	2,231,762	2,341,831	△ 110,069	前受金	0	0	0
前払金	1,942,499	2,148,908	△ 206,409	仮受金	0	229,706	△ 229,706
短期貸付金	0	0	0	その他の引当金	0	0	0
仮払金	335,100	0	335,100	固 定 負 債	416,459,454	442,968,454	△ 26,509,000
固 定 資 産	2,335,126,872	2,214,051,913	121,074,959	設備資金借入金	353,600,000	387,910,000	△ 34,310,000
基本財産	1,921,116,306	1,981,409,132	△ 60,292,826	退職給与引当金	59,259,454	51,458,454	7,801,000
建物	2,256,658,799	2,243,168,799	13,490,000	その他の固定負債	3,600,000	3,600,000	0
土地	533,458,880	533,458,880	0	負債の部合計	585,892,728	594,736,315	△ 8,843,587
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0	純 資 産 の 部			
減価償却累計額 △	870,001,373	796,218,547	73,782,826	基本金	124,883,024	124,883,024	0
その他の固定資産	414,010,566	232,642,781	181,367,785				
建物	39,572,814	39,572,814	0	国庫補助金等特別積立金	1,143,926,786	1,185,946,326	△ 42,019,540
構築物	6,292,088	6,292,088	0				
機械及び装置	17,789,861	17,789,861	0	施設整備等積立金	219,000,000	48,766,480	170,233,520
車両運搬具	33,666,233	32,467,058	1,199,175				
器具及び備品	158,485,291	140,425,759	18,059,532	次期繰越活動収支差額	1,083,705,599	1,169,604,505	△ 85,898,906
建設仮勘定	0	0	0				
減価償却累計額 △	121,508,892	107,229,720	14,279,172	(うち当期活動収支差額)	84,334,614	165,180,031	△ 80,845,417
権利	1,300,237	2,957,347	△ 1,657,110				
投資有価証券	10,000	10,000	0	純資産の部合計	2,571,515,409	2,529,200,335	42,315,074
その他の積立預金	219,000,000	48,766,480	170,233,520				
その他の固定資産	59,402,934	51,591,094	7,811,840	負債及び純資産の部合計	3,157,408,137	3,123,936,650	33,471,487
資産の部合計	3,157,408,137	3,123,936,650	33,471,487				

注 記

1 重要な会計方針

職員の退職金に備え、退職共済掛金の積立累計として退職給与引当金を計上 59,259,454 円

2 基本財産の増減の内容及び金額

竹の塚あかしあの杜トイレ増設等改修工事に伴う増加額及び償却による減少額 △ 60,292,826 円

3 担保に供されている資産の種類及び金額

1)基本財産土地(竹の塚あかしあの杜) 414,836,380 円

2)基本財産建物(足立あかしあ園・綾瀬あかしあ園・竹の塚あかしあの杜) 2,114,276,564 円

担保している債務等の種類及び金額

1)土地購入借入金(東京都高齢者研究・福祉振興財団) 217,700,000 円

2)設備資金借入金(福祉医療機構) 135,900,000 円

その他該当事項は、ありません。

財 産 目 録

(平成24年3月31日現在)

社会福祉法人 あいのわ福祉会

I 資産の部	3,157,408,137	円
1. 流動資産	822,281,265	円
現金預金	606,348,750	円
小口現金有高	714,018	円
足立成和信用金庫 青井支店	314,925,925	円
足立成和信用金庫 竹の塚支店	190,336,083	円
足立成和信用金庫 佐野支店	99,927,105	円
足立成和信用金庫 江北支店	52,156	円
三菱東京UFJ銀行 千住中央支店	22,464	円
みずほ銀行 千住支店	0	円
三井住友銀行 亀有支店	0	円
ゆうちょ銀行	370,999	円
売掛金	1,767,099	円
未収金	209,429,840	円
貯蔵品	226,215	円
立替金	2,231,762	円
前払金	1,942,499	円
仮払金	335,100	円
2. 固定資産	2,335,126,872	円
(1) 基本財産	1,921,116,306	円
建 物	2,256,658,799	円
足立区青井四丁目1250番地3、1250番地1 (養護所)	607,625,059	円
足立区綾瀬七丁目523番地8、523番地9、527番地3 (養護所)	689,851,000	円
足立区竹の塚七丁目1691番地8 (デイサービスセンター)	816,800,505	円
足立区谷中五丁目13番地8 (寄宿舍・集会所)	142,382,235	円
土 地	533,458,880	円
足立区竹の塚七丁目1691番8 (宅地) 1743.01㎡	414,836,380	円
足立区谷中5丁目13番8 (宅地) 505.21㎡	118,622,500	円
基本財産特定預金	1,000,000	円
減価償却累計額 △	870,001,373	円
(2) その他の固定資産	414,010,566	円
建 物	39,572,814	円
足立区谷中5丁目13番地8 (寄宿舍・集会所)	39,572,814	円
構築物	6,292,088	円
機械及び装置	17,789,861	円
車両運搬具	33,666,233	円
器具及び備品	158,485,291	円
建設仮勘定	0	円
減価償却累計額 △	121,508,892	円
権 利	1,300,237	円
投資有価証券	10,000	円
積立預金	219,000,000	円
足立成和信用金庫 青井支店	9,000,000	円
三菱東京UFJ銀行 千住中央支店	200,000,000	円
三井住友銀行 亀有支店	10,000,000	円
その他の固定資産	59,402,934	円
II 負債の部	585,892,728	円
1. 流動負債	169,433,274	円
買掛金	5,627,909	円
未払金	141,820,227	円
預り金	21,985,138	円
前受金	0	円
仮受金	0	円
2. 固定負債	416,459,454	円
設備資金借入金	353,600,000	円
退職給与引当金	59,259,454	円
その他の固定負債	3,600,000	円
III 差引純資産	2,571,515,409	円
1. 基本金	124,883,024	円
基本金	124,883,024	円
2. 積立金	1,362,926,786	円
国庫補助金等特別積立金	1,143,926,786	円
施設整備等積立金	219,000,000	円
人件費積立金	0	円
3. 繰越金	1,083,705,599	円

上記は、財産目録に相違ありません。

平成24年5月28日

社会福祉法人 あいのわ福祉会
理事長 岸本美恵子